

2017年2月16日

関係各位

センチュリー・システムズ株式会社  
代表取締役 田中 邁

## VPN ルータ/IoT ゲートウェイのデバイス管理ツール WarpLink SPS

センチュリー・システムズ株式会社(本社:東京都武蔵野市、代表取締役:田中邁、以下:センチュリー・システムズ)は、自動接続・一元管理が実現し、機器/ネットワークの各種マネジメントサービスを、低コストかつスピーディーに開始出来るネットワークマネジメントシステムサービス [WarpLink SPS](#) を2017年2月16日より提供します。

[WarpLink SPS](#) は、通信機器(サービスアダプタ)をネットワークに自動接続し、遠隔から集中管理するマネジメントシステム基盤です。[WarpLink SPS](#) では、設定管理などのすべての機能を専用の Web 画面を通して一元的に行えるため SaaS アプリケーションのように手軽に機器の管理を行うことが可能です。VPN ルータの集中監視に加えて、無人環境に多数展開している IoT ゲートウェイを一元管理が可能となり、VPN ルータ/IoT ゲートウェイに掛かるトータルコストを大幅に削減できます。



【WarpLink SPS 機能概念図】

[WarpLink SPS](#) は、VPN ルータ(FutureNet NXR-G200 シリーズ)を対象とした [WarpLink SPS](#) と IoT/M2M ゲートウェイ(FutureNet NXR-G100 シリーズ、FutureNet MA-E300 シリーズ)を対象とした [WarpLink SPS for M2M](#) の基本サービスがあります。

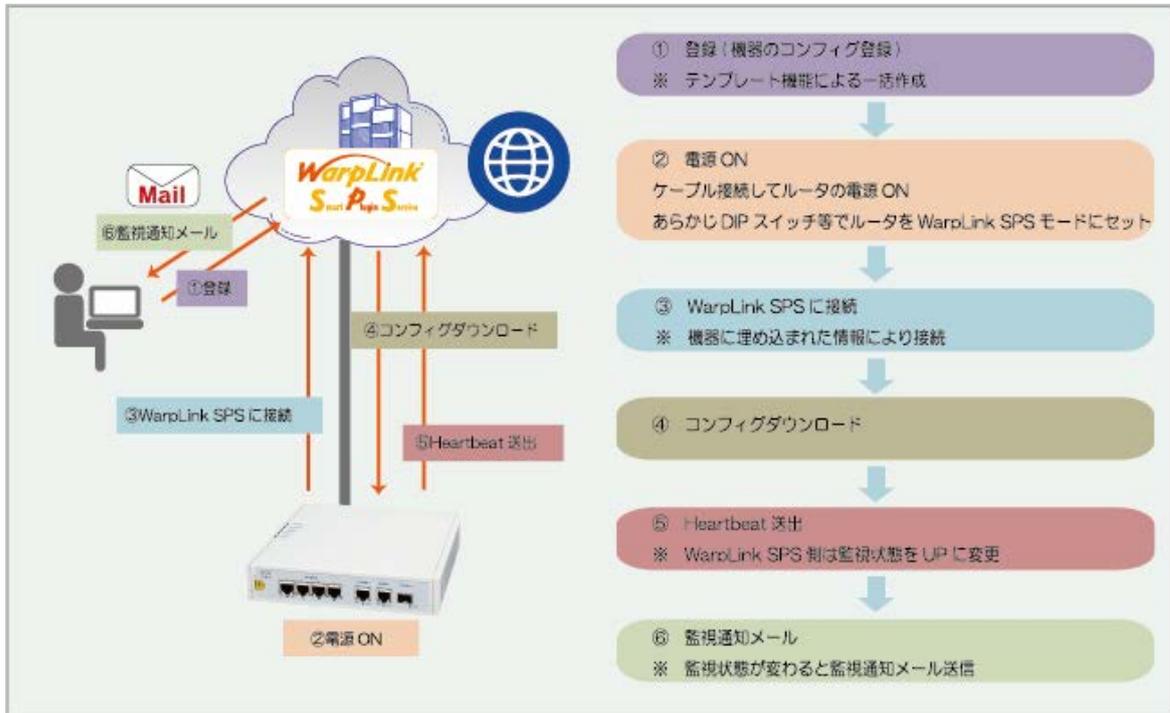
[WarpLink SPS](#)、[WarpLink SPS for M2M](#) の追加オプションとして、「保守プラン」、「回線プラン」、「コンフィグ・ファームウェア運用管理」を準備しております。基本サービスと全ての追加オプションを合わせてご購入いただければ、「設計・設定」、「現地接続・確認」、「監視・運用」、「保守」まで、弊社でトータルサポートいたします。

## ■ ゼロコンフィグ

起動時にサーバから設定を取得してルータが動作する機能です。

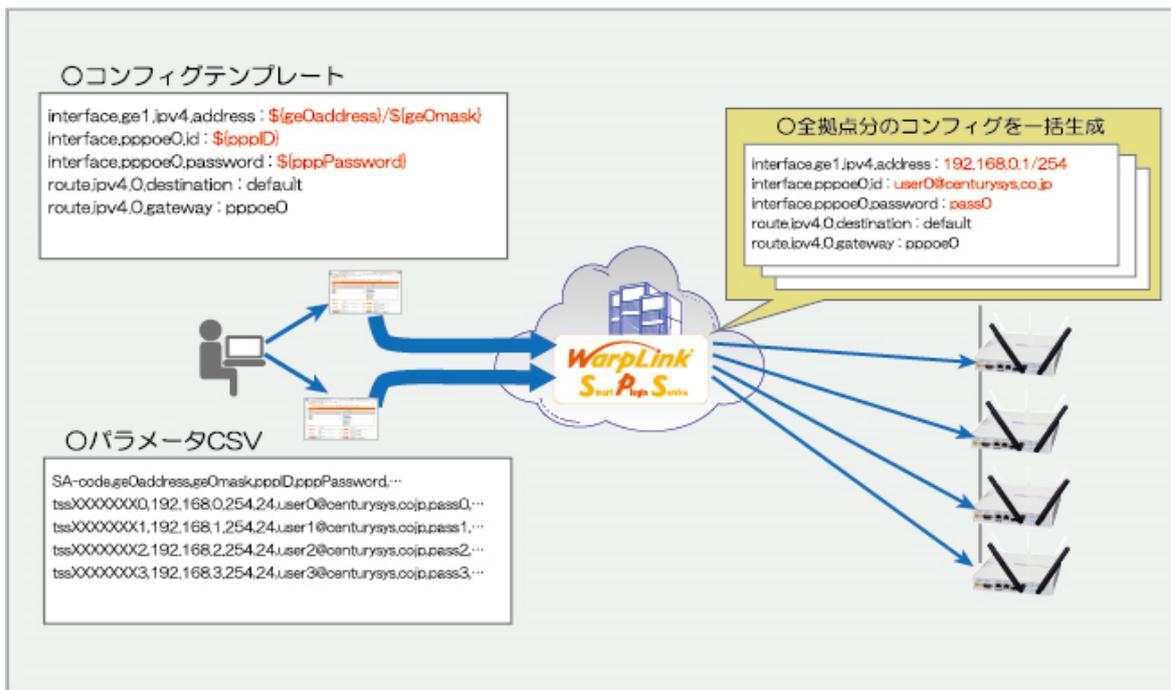
- ・ 機器設定が不要なので、誰でも設置可能
- ・ お客様での監視、管理不要なので、運用コスト削減を実現

管理者側のサーバで集中管理して、通信不可を検知した際はメールでお客様に配信するので、監視サーバの導入も不要です。



## ■ コンフィグテンプレート機能

コンフィグテンプレート機能は、LAN 側 IP アドレスや PPP 接続アカウントなどの、拠点（サービスアダプタ）ごとに異なるパラメータを任意の変数として定義したコンフィグのテンプレートが作成できる機能です。



ニュースリリース

## ■ モニタリング(監視/統計情報)

パケットでルータを監視し、管理者へのメール通知やトラフィックデータ、CPU 使用率、メモリ使用率のグラフを作成する機能を提供します。

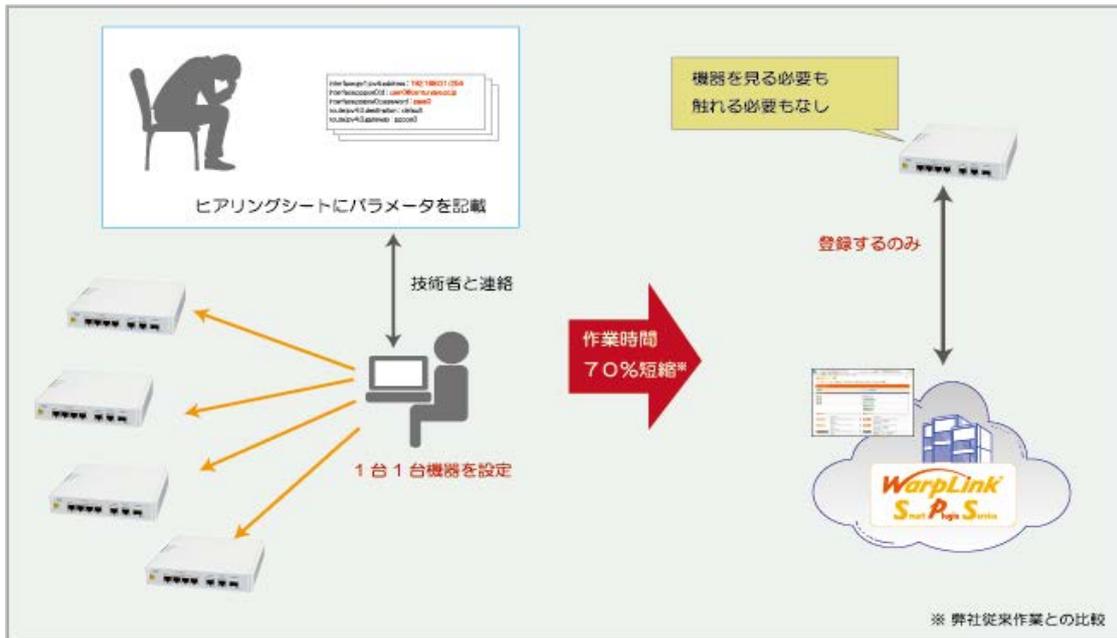
## ■ WarpLink SPS サーバからのオペレーション

ping(疎通確認)、traceroute(経路確認)、reboot(再起動)、ステータス取得/クリア、任意コマンド実行が可能です。

## ■ WarpLink SPS の導入効果

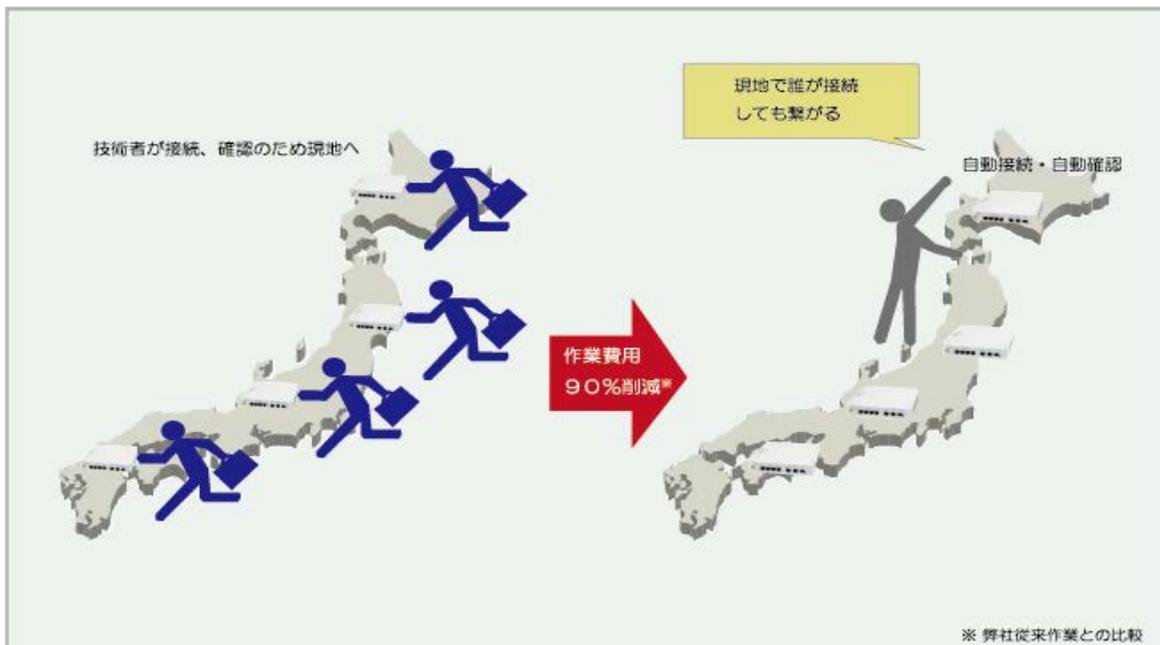
### ① 設計・設定

コンフィグテンプレート機能を用いて、設定を一括登録できます。



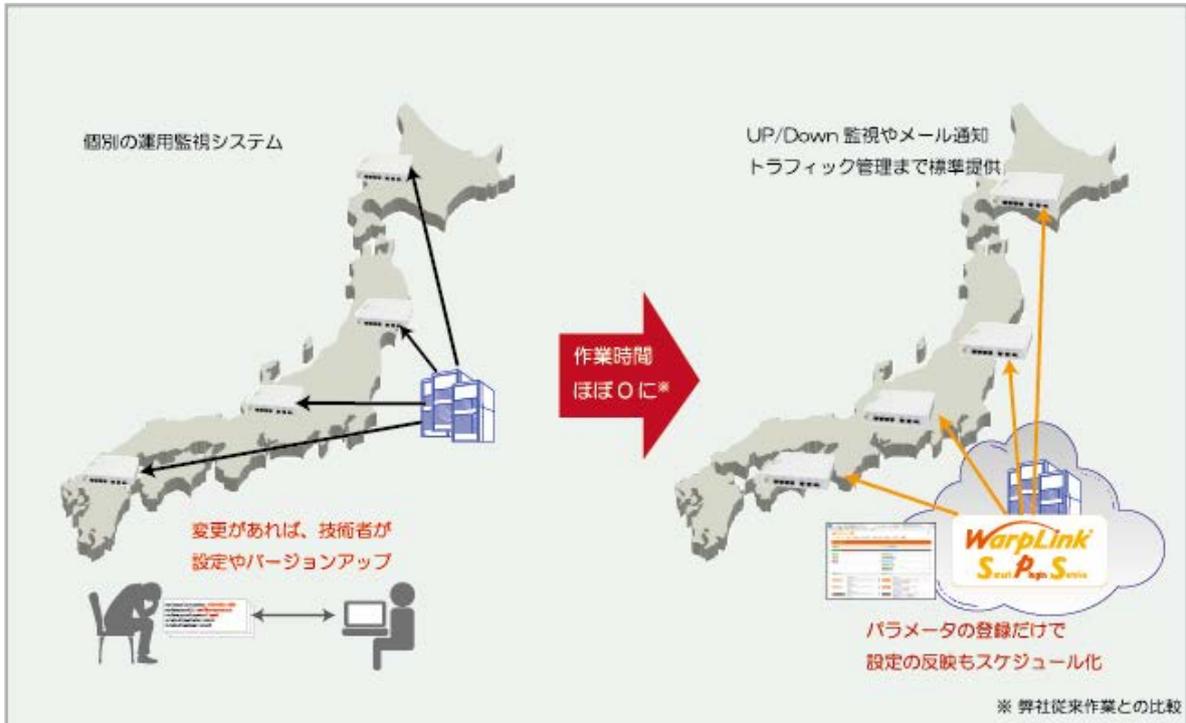
### ② 現地接続・確認

技術者を現場に派遣することなく、設置し電源を投入するだけで WarpLink SPS からコンフィグがダウンロードされ、利用可能になります。



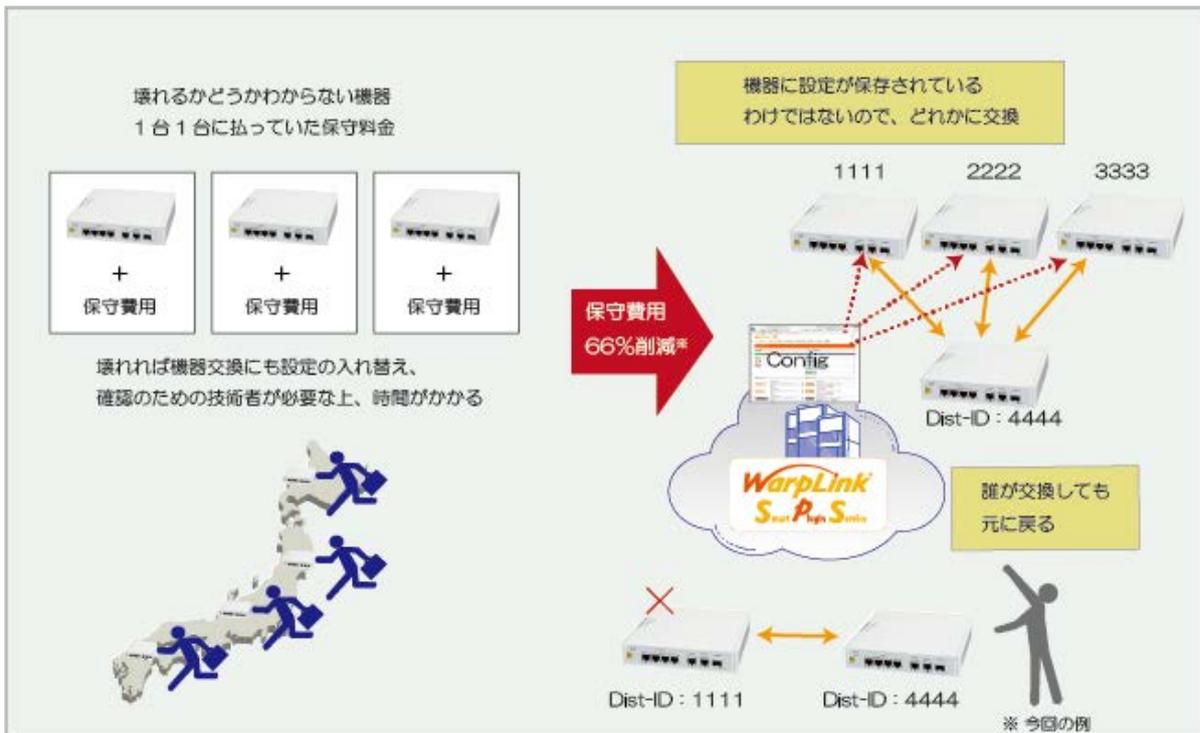
### ③ 監視・運用

WarpLink SPS のコントロールパネルから、機器の監視、設定変更ができます。



### ④ 保守

不具合が発生した機器を交換するだけで、運用を継続できます。



※ VPN ルータ/IoT ゲートウェイの購入から、WarpLink SPS による「① 設計・設定」、「② 現地接続・確認」、「③ 監視・運用」、「④ 保守」の全てを弊社にお任せいただき、安全にコストと手間の削減が可能です。

**/// 価格、販売等 ///**

■ WarpLink SPS サービス使用料（自動接続・一元管理）

サービス名	内容	初期費用	月額
WarpLink SPS	対象機種：NXR-G200 シリーズ	¥2,000	¥1,000
WarpLink SPS for M2M	対象機種：NXR-G100 シリーズ、MA-E300 シリーズ	¥2,000	¥300

■ 保守プラン

サービス名	内容	初期費用	月額
plus Standard	先出しセンドバック保守	-	¥300
plus Advanced	オンサイト保守	-	¥1,200

■ 回線プラン

サービス名	内容	初期費用	月額
plus 定額プラン	下り：150Mbps/上り：50Mbps (ベストエフォート、月間通信総量 7GB 超過後通信速度制限※ <sup>1</sup> )	¥3,000	¥4,000
plus M2M プラン	下り：256Kbps/上り：50Mbps (ベストエフォート、月間通信総量 500MB 超過後従量課金※ <sup>2</sup> )	¥3,000	¥660

※<sup>1</sup> 月間通信総量 7GB の上限を越えると、当月末まで通信速度が最大 256kbps に制限されます。

※<sup>2</sup> 月間通信総量 500MB の上限を越えると、当月末まで 0.01 円/128Byte の従量課金が発生します。

■ コンフィグ・ファームウェア運用管理

サービス名	内容	初期費用	月額
plus コンフィグ・ファームウェア運用管理サービス	コンフィグ作成/投入 機器ファームウェアの更新	-	¥400

/// センチュリー・システムズ株式会社について ///

センチュリー・システムズは、エンタープライズから組み込み、IoT/M2M システム開発等ネットワーク分野を中心に、ハードとソフトの開発を行う開発会社です。FutureNet®ブランドでの自社製品の提供を中心として、製品のカスタマイズや新規開発を含む受託開発、OEM 提供、ASP・クラウドサービス (WarpLink®)の提供をしています。受託開発では M2M、センサネットワーク、遠隔監視制御、高信頼ネットワーク、専用ゲートウェイ等の装置/システム開発や通信プロトコルのライセンス提供等で幅広い実績を持っています。

- ・会社名 : センチュリー・システムズ株式会社
- ・所在地 : 東京都武蔵野市境 1-15-14 穴戸ビル
- ・代表者 : 代表取締役 田中 邁
- ・事業内容 : ネットワーク製品ブランド FutureNet シリーズの開発・販売、製品のカスタマイズ、OEM 提供、IoT/M2M システム開発、受託開発、コンサルティング、ASP・クラウドサービス

● お問い合わせ先

WarpLink SPS に関するご質問、お問い合わせに関するご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。

なお、ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

電話 0422-37-8112

FAX 0422-55-3373

電子メール [press-release@centurysys.co.jp](mailto:press-release@centurysys.co.jp)

ホームページ <https://www.centurysys.co.jp/>

以上、新製品の紹介とさせていただきます。何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

- 
- ・ 「FutureNet®」、「WarpLink®」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。
  - ・ その他、文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標、サービス名称です。